



地域おこし協力隊  
小谷 英介

# 動きながら 考える日記

「初年度の活動をふりかえって」

地域おこし協力隊  
奮闘記

Vol. 12

私が大山町地域おこし協力隊として仕事を始めて10か月が経過しました。年度が変わるタイミングなので、これまで私が関わった活動を報告したいと思います。平成26年度は同じく協力隊の藪田佳奈さんと連携して“仕組みづくり”をテーマに取り組みました。



▲門前に「田舎暮らし入門住宅」オープン

## ＜平成26年度の主な実績＞

(小谷/藪田)

- ・「田舎暮らし入門住宅」企画実績：1件  
(2015年4月1日オープン)
- ・企業誘致活動実績：1件（カーブスジャパン社。2015年秋頃に直営店オープン予定）
- ・次期地域おこし協力隊（観光・農業）の採用活動実績：39人応募獲得、6人採用
- ・タブレット講習会  
新規入門者数：103人
- ・だいせん大学～視野が広がる学部～  
開催実績：3回
- ・その他、イベント企画など多数

## 「地域おこし」ってなんだろう!?

「地域おこし協力隊」という制度名ではありますが、私自身は「地域おこし」というものが何なのか正直よくわかりません。「日本の過疎地をなんとかしたい」という特別な使命感もありません。ただ、大山町という場所が好きで、この場所に活気がなくなるとしたら「もったいない」という気持ちがあります。

大山町は、その景観や食の恵みなどにより、世界中の人たちにとって「お気に入りの場所」となる可能性を秘めています。今後、少しでもその姿に近づいた大山町を見てみたいというのが、今の私のモチベーションになっています。

### ◆問い合わせ先

企画情報課未来づくり戦略室  
☎0859-54-5202

## 楽しく仕事をする輪

すべての活動において、町職員の皆さんや、地域事業者の方々から、多大なご支援とご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。活動をしていて印象的だったことは、一緒に仕事をさせていただいた方々から「君たちと一緒に仕事をするようになって、とても楽しい」と言ってもらえたことです。楽しく仕事ができるときに人の力は最大限発揮されます。今後も、“楽しく仕事をする輪”を広げていきたいと思っています。

## 地域資源を学びたい

初年度は、これまで社会人として培ってきた「引き出し」を活用して何ができるかに挑戦しました。今年度は、さらに地域に深く入り込んで、地域資源から学び、新たな引き出しを増やし活用することに重きを置きたいです。引き続き、よろしくお願いします。